

文献Ⅱ：「母子臨床の精神力動」を読む 2024年度

子どもの心の支援を行うに際しては、乳幼児発達や母子関係について学ぶことは必須であると考えています。本書は英国で子育て支援の専門家となる人のためのセミナーテキストで、母子関係を理解するために役立つ精神分析、発達心理学の諸論文から構成されています。これを参加者の皆さんと読み進めていきましょう。

本講座では、理論の習得よりも、体験的に学ぶことを重視します。わからないことをわかると言える仲間とともに、著者はここで何を伝えているのだろう、ここに書かれていることは臨床的に何を表しているのだろうかと、想像力を駆使して自由気ままにディスカッションしていきたいと思っています。2年にわたって読み進めますので、2024年度は後半からの開始となります。一つ一つの論文が独立していますので、後半からの参加でも問題なく読み進められます。2025年度は前半に戻ります。継続参加者だけでなく新規の方も安心してご参加ください。

2024年3月

ファシリテーター 臨床心理士・公認心理師 堀 恵子（こころのげんき株式会社）

実施内容

ファシリテーター：堀 恵子（臨床心理士、公認心理師、精神分析学会認定精神分析的心理療法士）

2024年6月～2025年2月 ZOOM を使いますので、自宅で受講できます。

全8回 第二木曜日 21時～22時半

回	日時	内容
第1回	6月13日	第13章 デッドマザー・コンプレックス
第2回	7月11日	第14章 喜びと苦悩－胎児検査への反応 第15章 先天奇形を伴う胎児の子育て－自尊心の調整
第3回	8月8日	第16章 アマンダー乳房としての母親を見出した哺乳瓶で養育された乳児の観察と考察 第17章 カニバリズムと救いとなるもの－いつも乳房が一番よいのか
第4回	10月10日	第18章 精神分析的洞察と関係性
第5回	11月14日	第19章 赤ん坊の言葉を理解すること
第6回	12月12日	第20章 子どもの行動が母親の精神衛生に及ぼす影響
第7回	1月9日	第21章 周産期における双子の一方の喪失のマネジメント 第22章 死産や新生児の死後の妊娠・心理的リストとそのマネジメント
第8回	2月13日	第23章 乳幼児期の授乳や食事に関する障害

指定文献と形式

文献：『母子臨床の精神力動 精神分析・発達心理学から子育て支援へ』ジョーン・ラファエル・エル編
木部則雄監訳

形式：

指定された文献箇所を読んで参加する。

指定討論者が話題提供を行う（文献内で気になったところやわからないところを提示する）。

自由に討論する。

参加条件および参加料金

参加条件：ここあプロジェクト 支援者メンバー及び「ここあの広場」利用者

※ 2024年度より、ここあプロジェクト「ここあの広場」利用には別途お申込が必要です。本講座に参加される方は、「ここあの広場」の継続利用の申請を行なってください。会員終了時から年度末までの利用料のお支払いが必要となります。

定員：先着 10名（継続参加者優先） 参加者 4名以上で開催。

学習意欲のある方に参加していただきたく、7割以上の参加を求めます。

講座参加費：年間 1万円（税込） 開催決定後、講座参加費の振込方法をご連絡します。

申込方法

下記のメールでお申し込みください。タイトルに「文献Ⅱ：氏名」と書き、本文に、参加したい勉強会の名称、氏名、所属、携帯電話番号、メールアドレスをご記入ください。

申込先：ここあプロジェクト メール kensyu@kokoaproject.com

申込期間：2024年3月10日（日）～4月28日（日）

※継続参加者は3月末までに継続するかどうかを意思表示してください。

定員：10名 継続参加者優先